

森林資源の  
持続可能な  
地域づくり

2025/01/17 FRI  
15:30 ~ 17:30

参加費：無料  
事前申込：不要

水戸市民会館 ユードムホール（中ホール）

第1部 講演

1. 「茨城県の林業・木材利用に関する取組」  
細田浩司（茨城県農林水産部林業課長）
2. 「木造による大規模公共建築への活用」  
遠藤克彦（茨城大学工学部教授、遠藤克彦建築研究所代表取締役）
3. 「大子町における森林資源の現状と木造技術者」  
菊池均（(株)樹輪 大子の大工）
4. 「丸太打設液状化対策による炭素回収と地中貯蔵」  
沼田淳紀（ソイルウッド代表、高知大学客員教授）
5. 「歴史的資源としての大子町の板倉と文化的景観」  
熊澤貴之（茨城大学工学部附属都市・地域デザイン  
教育研究副センター長、茨城大学教授）

第2部 パネルディスカッション

- 「地域経済・環境・コミュニティの視点で森林資源活用を考える」  
「産学官連携で木造土木建築技術の教育・研究推進や地方創生を考える」

本シンポジウムでは、茨城県県北エリアの森林資源に焦点を当て、これまでの研究成果や専門家の知見を共有します。森林資源の保全や管理、木材利用、地域資源としての風景の評価を通じて、地域経済、環境、コミュニティ形成の観点から持続可能な地域づくりを考えます。今回のシンポジウムをキックオフとし、今後、このテーマのシンポジウムを継続的に開催する予定です。市民、学生、自治体職員、林業・建設業関係者など多くのご参加をお待ちしております。

主催 茨城大学工学部附属都市・地域デザイン教育研究センター

後援 茨城県、大子町、(公社)茨城県森林・林業協会、茨城県木材協同組合連合会、(一社)茨城県建設コンサルタンツ協会、(一社)茨城県建築士会、(一社)茨城県建築士事務所協会、(公社)JIA 関東甲信越支部茨城地域会、日本建築学会関東支部茨城支所、茨城大学工学部都市システム工学科

問い合わせ先 茨城大学工学部総務係 Tel:0294-38-5032、E-mail:kougaku.soumu@ml.ibaraki.ac.jp

## 茨城県の森林資源を活かした持続可能な地域づくり

茨城大学工学部附属都市・地域デザイン教育研究センターでは、茨城県内の地域資源を活用した都市・地域デザインの研究を通じて、良好な地域づくりを目指しています。本シンポジウムでは、茨城県県北エリアの森林資源に焦点を当て、これまでの研究成果や専門家の知見を共有します。森林資源の保全や管理、木材利用、地域資源としての風景の評価を通じて、地域経済、環境、コミュニティ形成の観点から持続可能な地域づくりを考えます。今回のシンポジウムをキックオフとし、今後、このテーマのシンポジウムを継続的に開催する予定です。市民、学生、自治体職員、林業・建設業関係者など多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時: 令和 7 年 1 月 17 日(金) 15:30~17:30

事前申込: 不要

場所: 水戸市民会館 ユードムホール(中ホール)

参加費: 無料

開会挨拶 小林芳男(副工学部長(研究担当))

来賓挨拶 石井邦一((公社)茨城県森林・林業協会理事長、茨城県議会議員)

講演(1) 細田浩司(茨城県農林水産部林業課長)

「茨城県の林業・木材利用に関する取組」

(2) 遠藤克彦(工学部教授、遠藤克彦建築研究所代表取締役)

「木造による大規模公共建築への活用」

(3) 菊池均((株)樹輪 大子の大工)

「大子町における森林資源の現状と木造技術者」

(4) 沼田淳紀(ソイルウッド代表、高知大学客員教授)

「丸太打設液状化対策による炭素回収と地中貯蔵」

(5) 熊澤貴之(工学部附属都市・地域デザイン教育研究センター長、工学部教授)

「歴史的資源としての大子町の板倉と文化的景観」

パネルディスカッション

「地域経済・環境・コミュニティの視点で森林資源活用を考える」

「産学官連携で木造土木建築技術の教育・研究推進や地方創生を考える」

司会: 小林薫(工学部附属都市・地域デザイン教育研究センター長、工学部教授)

パネリスト: 上記講演者

主催 茨城大学工学部附属都市・地域デザイン教育研究センター

後援 茨城県、大子町、(公社)茨城県森林・林業協会、茨城県木材協同組合連合会、(一社)茨城県建設コンサルタント協会、(一社)茨城県建築士会、(一社)茨城県建築士事務所協会、(公社)JIA 関東甲信越支部茨城地域会、日本建築学会関東支部茨城支所、茨城大学工学部都市システム工学科

問い合わせ先 茨城大学工学部総務係 Tel:0294-38-5032、E-mail:kougaku.soumu@ml.ibaraki.ac.jp